

主な内容

- 市民サービス・市政の効率化を第一に
(新機構がスタート)..... 2 P
- 地熱発電をめざして 調査井の掘削はじまる(上登別町)..... 3 P
- 生活文化・歴史を受け継ぐ 郷土資料館、
9月1日待望のオープンへ..... 4・5 P
- 郷土史探訪 登別温泉町Ⅱ..... 6 P
- 病は手から 食品衛生週間8月3日~..... 7 P



北方領土返還を願ひ

全国縦断自転車の旅へ

〓千歳町 鹿野さん(65歳)〓

「返えせ/北方領土」をさげびながら、自転車で日本縦断をめざし、市内の自転車おじいさんが元気に出発しました。

この人は、千歳町の鹿野邦俊さんで、早朝十キロのマラソンを毎日続け、昨年の夏には、登別から長崎県佐世保まで、片道二千四百キロメートルを自転車で走りぬいた実績の持ち主。

スタート地点の市役所にやってきた鹿野さんは、薄いジャージスタイルで、返えせ/北方領土」と書いたチョッキを着こみ、ちょっぴり緊張きみ。

大勢の人たちの見送りを受け、「必ず完走して戻ってきます」と力強い言葉を残し、ペダルも軽く一路沖繩めざして出発しました。

鹿野さんは、まず根室市へ向い折り返し、沖繩県那覇市まで約四千キロメートルの道を走り走破することになっています。

この間、四十二の市町村に立ち寄り、北方領土返還の署名をもらいながら、八月二十八日には那覇市に到着の予定です。

8 1981



市民サービスの効率化を第一に

七月十日付で新しい市の機構がスタートしました。いままでの機構から四部二課を減らし十部四十八課制としましたが、これは効率ある市政を進めると各課の機能を最大限に発揮させるとともに、市民サービスに徹するための機構となっています。

新しい機構のなかで特に、税務部へ財政課を加え財政部としたのは、近年の地方財政の硬直化は他市同様、市でも深刻な状態となっており、さらに国においても、さかんに行政改革が論議されている状況から、柔軟で効率のよい財政運営を目指し、多様化する市民要求に答えていくために、あらゆる財源の確保を図る体制となっています。

今回の機構改革によって各部長がかわっていますので、夜間、休日にどうしても問い合わせたいことが起きましたときは次へお電話ください。また市役所内、各課の配置が左図のようになっています。

- 市役所全般については……………総務部長（菊地 衛）宅 5-5442
 部長不在のとき 総務課長宅 5-6865
 公害、交通安全などは 企画広報課長宅 5-4120
- 税金、財政などについては…財政部長（渡辺干二夫）宅 5-2857
 財政課長宅 5-6920
- 福祉、保健、保育所、戸籍などについては……………
 民生部長（千葉一義）宅 5-5216
 社会課長宅 5-4263
- ごみ処理、し尿、労働、消費生活などについては……………
 経済環境部長（長沼 進）宅 4-2784
 商工課長宅 5-5213
- 道路、排水、都市計画、公営住宅、建築指導などについては
 建設部長（政田正雄）宅 5-4865
 管理課長宅 5-6603
- 観光などについては……………観光部長（秋本 慧）宅 5-4292
 観光課長宅 5-3955
- 市議会などについては…議会事務局長（佐藤作太郎）宅 5-5777
 庶務課長宅 5-8473
- 幼稚園、学校、社会教育、体育などについては……………
 教育長（大笹 繁）宅 5-3024
 教育次長（宮本秀雄）宅 5-8552
- 火災、救急車出動要請は…119
 消防、救急の事務的なことについては…
 消防長（後藤四郎）宅 5-2740
 総務課長宅 5-4694
- 水道事故（漏水、凍結）は…5-2111
 水道料金、給水工事などについては…
 水道部長（大西直市）宅 5-2282
 業務課長宅 5-7643

水を大切に



生活文化 歴史を受け継ぐ **郷土資料館**

9月1日待望のオープンへ

片倉家秘蔵のよろい・かぶと 埋蔵文化財など一万七千点を収蔵

開館準備が進められている「登別市郷土資料館」一周辺整備を終え、九月一日待望のオープンを迎えます。同資料館は、幌別ダム下の川上総合公園計画区域の一画に、片倉

片倉家第一代当主小十郎景綱の美戦よろい・かぶとなどを展示した「片倉家コーナー」をはじめ、市内で発掘された土器や石器の展示コーナー、産業の各コーナーなど十五コーナーが設けられています。

登別市の古代から明治初期の開拓、そして現代へと一発展の歩みを伝え、私たちの心のふるさととして開館されます。ここでは、館内の主なコーナーをご紹介します。

片倉家ゆかりの 武具などを展示

郷土資料館の特色は、片倉家の居城、白石城をモデルとした外観で、館内には片倉家のコーナーがあります。

このほか、代えカブト、火なわ銃、赤陣羽織、軍扇、さい配などが二階の語らい広場に展示されています。

登別の開拓は、旧白石藩・片倉家に、登別市の前身である幌別郡の支配が命じられた明治二年からで、この年が登別市の開基の年となっています。

また二階には、「知里家ゆかりの人々コーナー」として、登別出身で世界的な言語学者である知里真志保氏（故人）、またユーカーラの伝承者として知られる金成マツさん（故人）などの業績にスポットをあてた写真、パネルが展示されています。

郷土資料館のメインでもある片倉家のコーナーには、片倉家の子孫（宮城県白石市）の方々の好意で、第一代当主小十郎景綱のよろい・かぶとなど武具十七点が寄託されました。

このほか、温泉メカニズムを紹介した温泉コーナーや、鉱山、民俗、農業、漁業、消防のコーナーなどに分類、展示されています。

中でも、「紺糸織黒胴（こんいとおどしくろどう）」と呼ばれる、よろい・かぶとは、これまで片倉白石城をモデルに完成した郷土資料館（片倉町6丁目27番地）周辺の芝張りや門の建設などを残し、ほぼ開館準備も整いました。

この遺物は、埋蔵文化財センターによって昨年発掘され、市に約一万四千点が贈られたものです。

家門外不出の「家宝」として伝わってきた貴重な品で、主君・伊達政宗から授けられたといわれる由緒ある遺品です。



明治から大正にかけての生活道具を集め、再現された開拓家屋の内部

開拓小屋や 古代を再現

一階の「体験ひろば」には、開拓家屋の内部を再現し、いろいろを中心明治から大正にかけての生活用品、こおりやおひつ、アイロなどを展示しています。

また、太古のコーナーでは、市内から発掘された土器や石器が展示されています。

このほか、身体障害者の入場と付き添いの方、また各学校の学習に利用する場合は無料です。

● 入場のご案内

(TEL 01339)

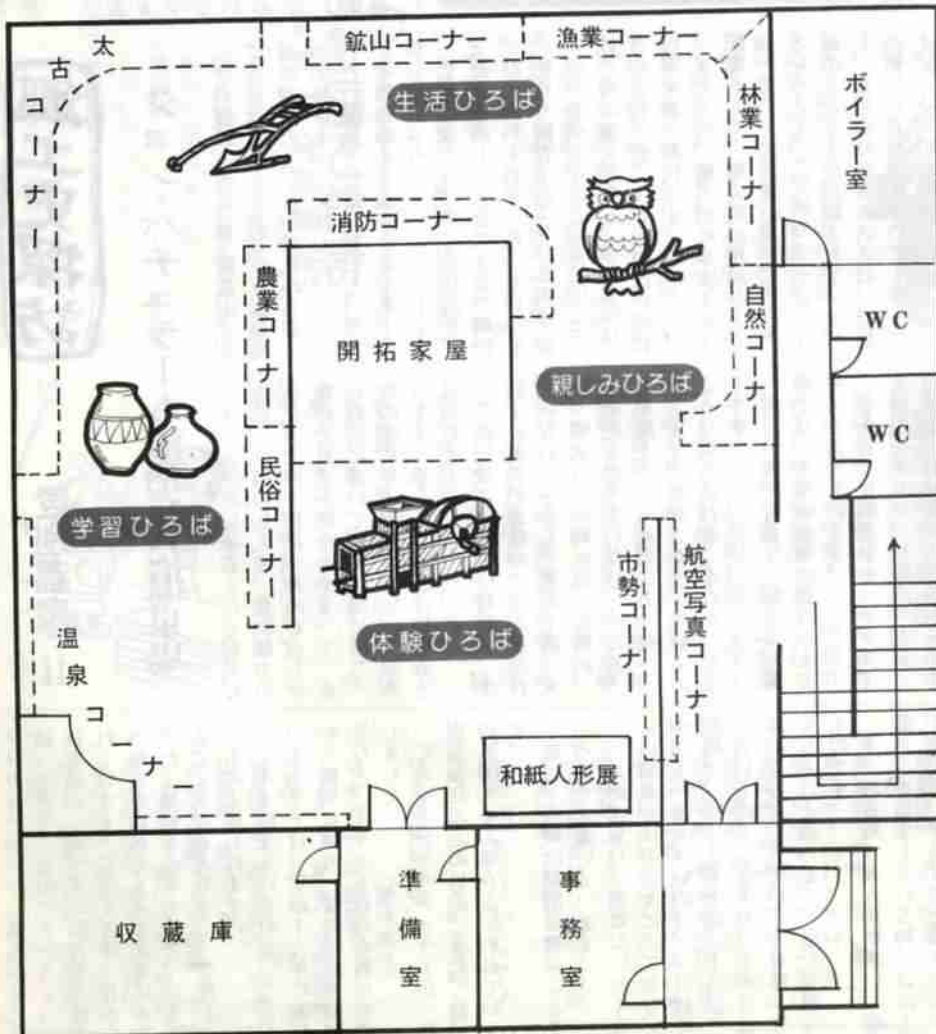
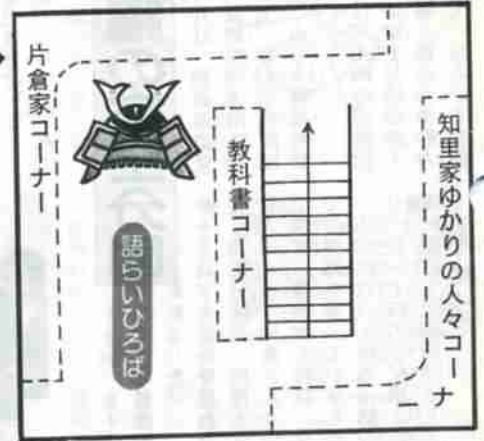
▼開館時間 4月～10月/午前10時から午後5時、11月～3月/午前10時から午後4時 ▼休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始 ▼入場料 高校生以上100円、小・中学生50円、(20名以上の団体入場は、20円と10円引き) ※このほか、身体障害者の入場と付き添いの方、また各学校の学習に利用する場合は無料です。



市民からの寄贈で、資料館横に設置された「登別市民憲章」石碑

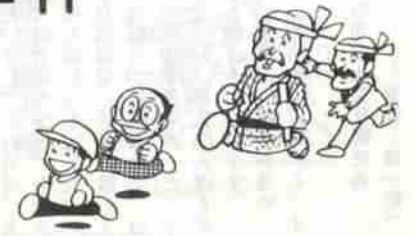
2F →

左側が、第一代片倉家当主・景綱が着用したよろい、かぶと。実戦用のため装飾は少なく、重さも約十六^{ポンド}と軽量ですが、鉄製のよろいは紺色の糸でふちどられ、いかにも勇壮なつくり、ひと際、重厚さを誇っています。



古代のロマンを現代へ——石器や土器を展示した「太古コーナー」

← 1F





大自然を満喫

夏本番を迎えた七月十七日、鉾山町市民研修センターで、今年最初の宿泊研修が行なわれました。この日訪れたのは、市内登別中学校の一年生九十数名で、観覧レークハウス前から歩いて鉾山入りをしました。

深い緑に包まれた大自然のなかでのスケッチや、清い水の流れる川原での炊事、キャンプファイヤーを開くなどの歌合戦など、鉾山町は終日、生徒たちの歓声がこだましていました。



大活躍の富士分団

去る七月九日、洞爺湖温泉で開かれた胆振地方消防総合訓練大会で、登別市消防団が大活躍し、みごと優勝を飾りました。

同大会には、市内の消防団の代表として富士分団の四人が出場し、第三種的小型動力ポンプ操法で、なみいる強豪

を圧倒、五十二年以来二度目の優勝をものにしました。

十三日、市役所を訪れた鹿野野長、岡山分団長、指揮をとった佐野さんらは、興奮さめやらぬ表情で深紅の優勝旗を披露、全道大会での健闘を誓っていました。

市内には六ヶ所の消防分団があり、計一七四名が配備され、郷土愛に根ざした消防団として活動しています。

元気に帰国

J C 青年の船



J C 青年の船に市内から参加した四名が、市役所へ帰国のあいさつに訪れました。一行は、香港、台湾を回りながら船上セミナーを受けるなど、全国各地から集った団員と交流を深めてきたもので、参加者の一人丹治登志子さんは「楽しいながらも、東南アジアの現状を知るなど貴重な体験をしてきました。この体験をこれからの実社会に大いに生かしていきたい」と語っていました。

この企画は、日本青年会議所が若者の視野を広く世界に向けるため毎年行っているものです。

郷土史探訪

登別温泉 II

ジョン・パチエラーも湯治した温泉場

登別温泉の地名は、硫黄山、ヌブルベツ温泉、ノボリベツ温泉場湯の流などと、江戸時代から多くの名称をもっていました。

古い温泉としての歴史と、それだけ特色のある温泉の湯であったからでしょう。

ユイカラの伝承者として有名な金成マツ子の伝える、登別地方のユイカラの一節に「神のお召しに扱いた若者が路をあやまって、赤い岩間に湧いている熱湯に落ち、神の国に昇天した」という文があります。恐らく、場所は地獄谷と想われます。

登別温泉には、多くの伝説や、実際に入浴した人達による当時の記録、資料も数多く残っています。

活上の薬効の意味のことが書かれていないことから、地震や雷、火山、噴火などの時には、呪術的、巫術的な祭りを行ない、神に祈って悪魔をさける風習の方が強かったことで、噴煙さかまくら地獄谷のような場所には近づかなかったようです。

彼は、当時の登別温泉のことをいろいろと書いています。「この温泉は、他にないたくさんの噴泉が山の方々に出ており、中でも一番大きいのは、一分位の間隔で、少くとも十間（十八尺）くらいも高くふき上り、その音は雷のようで、見ていると身体が寒くなるほど恐ろしく、また立派なものです。」

また当時、蝦夷地に事実上の支配権をもち、蝦夷地の状況をよく知っていた松前藩の家臣「兼広某」という人も、「のぼりべつゆ」で湯治したことが記録されています。

しかし、登別温泉をパンケユ、大湯沼をポロユ、地獄沼などから合流し、紅葉谷の方へ流れる川を

またある時、友人が噴火口（地獄谷）を散歩している時、急に土が崩れて、ずるずると膝まで入って、片足は半熟のようになってしまいました。そしてその方は、大変苦しんで医者にかかり、全治するのに半年もかかりました。

当時の登別温泉の活動の激しさや、まだ地獄谷が通路もなく、自然の状況の中で事故もあつたことがわかりますし、外人の人達も多く来ていた様子もわかります。そして、本格的に開発が進められるのは、明治中期以降からです。



大正期の湯ノ滝（現湯沢神社の下）

（登別市郷土文化研究会

宮武 伸一記）

病は手から

暑い夏は、食中毒がいちばん発生しやすい季節です。昔から「食品衛生は、手洗いにはじまり、手洗いに終る」とよくいわれますが、手洗いこそ食品衛生の基本です。恐しい食中毒の防止は、まず完全な手洗いの実行から――。

「完全な手洗い」のための五章

いまさら手の洗い方なんて。などとおっしゃらずに、いまいちど、完全な手洗いを、実行して、家族を恐ろしい食中毒から守りましょう。



第一章

● ゆっくり時間をかけて洗う
片手や指先だけをちよっと水にぬらして、手を洗ったと思ってい

● つめを短く切る
爪は細菌がいちばん好きな巣です。いつも短く清潔に。

第二章

● 爪は細菌がいちばん好きな巣です。いつも短く清潔に。

第三章

● せっけんやせっけん液を使って最低限ひじから下まで洗う



● 手の甲、指の間、指先、つめの中などはもちろん、ひじから手首までの部分もよく洗いまししょう。また、手洗いの用のブラシや、つめブラシを用意しておく

● せっけんなどでよごれを落したあとのすすぎは、十分に時間をかける
すすぎがいい加減では、なんにもなりません。

第五章

● 手をふくタオルや手ぬぐいは、いつも清潔にしておく
どんなに時間をかけて理想的な手洗いをしても、タオルや手ぬぐいが汚れていたのでは何にもなりません。



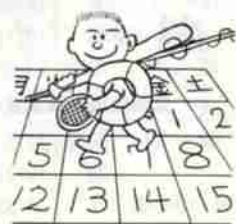
暴走運転を追放

夏の交通安全総ぐるみ運動

警察官を募集

- ▽ 受験資格 学歴/A: 学校教育法による大学卒業の者(昭和57年3月卒業見込みの者を含む) B: A以外の者 年齢/昭和29年4月2日以外から昭和39年4月1日までに生まれた男子
- ▽ 採用人員 約220人
- ▽ 受付期間 8月3日～9月12日
- ▽ 試験日・場所 9月27日 室蘭市
- ▽ 詳しいことは、室蘭警察署(電話0143-22局5191)、またはほとりの警察官派出所・駐在所にお問い合わせください。

- ▽ 運動の重点目標
① 夏休み中の子どもを交通事故から守ろう。
② 若者による暴走運転を防止しよう。
- ③ 暴走族を追放しよう。
④ スピード・ダウン運転、早め点検及びシートベルト着用推進



夏休みは計画を立てて。

消防設備点検資格者講習

- ▽ 講習区分 第一種および第二種
- ▽ 講習日・場所 第一種 9月28日・29日・30日 第二種 10月5日・6日・7日 北海道防災センター
- ▽ 受付期間 8月1日～20日
- ▽ 受付場所 北海道消防設備協会(札幌市中央区北二条東三ノ二セントラルビル内)
- ▽ 受講料 二万円
- ※ 受講申請書は、登別市消防本部にあります。

「ご寄贈ありがとうございます」
「ごさいます(敬称略)」
社会福祉協議会

- ▽ 現金寄贈 小野陽子フラワートイレサイン教室、登別民謡連合会
- ▽ 物品寄贈 高森賢一、富士幼稚園、坪谷ツル
- ▽ 古切手寄贈 上田商会、サトウ電気、北信建設、札幌別秋田県人会、国立登別病院患者一同、木村ノブ、小林雅子、藤本シズカ、登別市役所

ふれあう心の合言葉

「親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。」

寒冷地に建つ住宅の計画と設計

室工大公開講座

- ▽ 室蘭工業大学では、これから住宅を建てられる方々を中心に「住い」を見直し、寒冷地住宅を考える公開講座を開催します。
- ▽ 募集人員 80名
- ▽ 開講日時 8月31日～9月9日 午後6時から9時まで
- ▽ 開講場所 室蘭工業大学(教養講義棟4階、視聴覚教室)
- ▽ 主な演題 住宅の間取り、住環境と騒音、住宅の構造、住宅の断熱と暖房、その他
- ▽ 講習料 1,500円(申し込み時に納入ください)
- ▽ 受付期間 8月1日～15日(所定の用紙により申し込みください。定員になり次第締切り)
- ▽ 申込場所 室蘭工業大学学生部



社員増強にご協力を

日本赤十字社募金

今年の日赤募金運動が全国一斉に始まりました。

日本赤十字社は、人道的使命に基づき、各国の赤十字社と協力して、国際的な救護活動、国内外の災害救護、血液事業、各種安全事業など人命尊重を使命とした幅広い仕事をしています。

この運動の推進強化、社員制度の確立と募金の安定的増収を図るため、登別市でも次の日程で運動を展開することになりました。

市民のみなさんご協力をお願いいたします。

▽実施期間 8月1日～31日
▽問い合わせ先 日本赤十字社登別

富浦墓地行き

無料墓参バスを運行します。

8月13日～16日

停車場、運行時刻をお確かめのうえ、ご利用ください。

運行時刻表

① 上鷺別・鷺別地区～富浦墓地間							
トヨタ	鷺別	察発	10:00	13:00	富浦墓地発	11:35	14:35
松木	商店		10:02	13:02	富浦	11:40	14:40
鷺別	中学校		10:06	13:06	幌別小学校	11:47	14:47
鷺別	小学校		10:07	13:07	幌別駅西口	11:48	14:48
東	鷺別		10:08	13:08	津村商店	11:51	14:51
は	まなす	団地	10:09	13:09	あかしや	11:52	14:52
帝	国	酸	10:11	13:11	開発	11:54	14:54
西	富	岸	10:13	13:13	富	11:55	14:55
富	富	岸	10:15	13:15	西	11:57	14:57
開	発	局	10:16	13:16	帝	11:59	14:59
あ	かしや	団地	10:18	13:18	は	12:01	15:01
津	村	商店	10:19	13:19	東	12:02	15:02
幌	別	駅西口	10:22	13:22	鷺別小学校	12:03	15:03
幌	別	小学校	10:23	13:23	鷺別中学校	12:04	15:04
富	富	浦	10:30	13:30	松木	12:08	15:08
富	富	浦	10:35	13:35	トヨタ	12:10	15:10
② 若草・幌別地区～富浦墓地間							
イ	ースト	ショ	10:00	13:00	富浦墓地発	11:50	14:50
若	草	入	10:02	13:02	ソ	12:02	15:02
若	草	中	10:03	13:03	地	12:04	15:04
緑	ヶ	丘	10:04	13:04	登	12:06	15:06
千	代	の	10:05	10:05	み	12:07	15:07
富	岸	小	10:08	13:08	販	12:10	15:10
總	合	体	10:12	13:12	登	12:12	15:12
桜	木	団	10:15	13:15	桜	12:15	15:15
登	別	大	10:18	13:18	總	12:18	15:18
販	井	商	10:20	13:20	富	12:22	15:22
み	ゆ	き	10:23	13:23	千	12:25	15:25
登	別	電	10:24	13:24	緑	12:26	15:26
地	区	労	10:25	13:25	若	12:27	15:27
ソ	ー	ダ	10:28	13:28	若	12:28	15:28
富	富	浦	10:40	13:40	イ	12:30	15:30
③ 幌別地区～富浦墓地間							
登	別	高	10:00	13:00	富浦墓地発	11:20	14:20
幌	別	西	10:00	13:00	す	11:29	14:29
ホ	ー	ム	10:01	13:01	三	11:31	14:31
社	宅	十	10:02	13:02	ソ	11:32	14:32
フ	ー	ド	10:03	13:03	幌	11:33	14:33
幌	別	小	10:04	13:04	幌	11:36	14:36
幌	別	東	10:07	13:07	フ	11:37	14:37
ソ	ー	ダ	10:08	13:08	社	11:38	14:38
三	洋	工	10:09	13:09	ホ	11:39	14:39
す	ず	ら	10:11	13:11	幌	11:40	14:40
富	富	浦	10:20	13:20	登	11:41	14:41
④ 登別地区～富浦墓地間							
登	別	駅	10:30	13:30	富浦墓地発	11:40	14:40
登	別	中	10:31	13:31	和	11:45	14:45
登	別	中	10:32	13:32	登	11:48	14:48
和	田	産	10:35	13:35	登	11:49	14:49
富	富	浦	10:40	13:40	登	11:50	14:50

乳児相談

内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
用意するもの 母子健康手帳
換えオムツ、バスタオル



別 55. T. 23

日程と場所
8月27日：鷺別公民館 受付 11時15分～11時30分 対象 別地区（大和町、富岸町、若山町）3・4丁目を含めた鷺別町、美園町方面の昭和56年5月出

風景入り日付印をご利用ください
登別郵便局では、風景入り通信日付印を作成し、7月23日から使

お気軽にご利用を
簡易保険の巡回診察
郵便局では、簡易保険加入者を対象に巡回総合健康診断を行なっています。お気軽にご利用ください。

おわけします(売り)
コーナーイス、ファンシーケーセ、センターテーブル、ロッキングチェア、応接3点セット、座敷テーブル、ベビーチェア、歩行器、プラザーあみ機、あんま機、ぶらさがり健康機、学生用かばん、アルミ窓枠
ゆずってください(買い)
ベビーカー(折たたみ用)、ベビーベット、ベビーカー(2人用)、婦人用自転車、アルミホイール、オートバイ(50cc、125cc)、オートバイ(婦人用)、幼児用自転車(14歳以下) 電気オルガン、ピアノ、琴、ステレオ、剣道用具、サッカーシューズ(22～22.5)、ぶらさがり健康器、カーテン(ペラダ用)、流し台(小型)、子供用百科辞典

不用品ダイヤル市

5局2111
内線 257

おわけします(売り)

コーナーイス、ファンシーケーセ、センターテーブル、ロッキングチェア、応接3点セット、座敷テーブル、ベビーチェア、歩行器、プラザーあみ機、あんま機、ぶらさがり健康機、学生用かばん、アルミ窓枠

ゆずってください(買い)

ベビーカー(折たたみ用)、ベビーベット、ベビーカー(2人用)、婦人用自転車、アルミホイール、オートバイ(50cc、125cc)、オートバイ(婦人用)、幼児用自転車(14歳以下) 電気オルガン、ピアノ、琴、ステレオ、剣道用具、サッカーシューズ(22～22.5)、ぶらさがり健康器、カーテン(ペラダ用)、流し台(小型)、子供用百科辞典

生児
8月28日：中央公民館 受付 11時15分～11時30分 対象 別地区（青葉町、緑町、若山町）1・2丁目から中央地区を含めて幸町、新栄町、千歳町までの地域）の昭和56年5月出生児

用いています。
図案は新設の郷土資料館とオロフレ山、市の花「菊」を描いた郷土色豊かなものです。みなさまのご利用をお待ちしています。
利用できるのは、40円以上の郵便切手を貼付した台紙（郵便はがき等を含む）です。

▽場所 登別市中央公民館
▽対象 簡易保険加入者（一般の方も受診できます）
▽診療項目 血圧、検尿（糖、たんぱく）、心電図、胃部および胸
▽受診予約 検査の質問票（申込書兼用）を事前にお渡ししますので、登別郵便局の窓口にお申し込みください。